

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供します。



いと 西陣憩いの郷だより

vol. 40 2026.10.15



Photo by Fumio Okita

あっぱれ

理事長 相馬 隆人



過日新聞を読んでいた妻が「えー！ なんてこと」と言って騒ぎ出しました。

そして私に対して「おもしろいからこの投稿欄読んでみた」と言いました。それは女性の気持ちに自由に書き綴るこの新聞の人気コーナーでした。言われるままにその日の投稿欄を読みました。

話の内容はこうです。筆者の女性は一人暮らしで息子さんご夫婦は近くに住んでおられます。彼女の作った料理を息子さんが時々持ち帰りご夫婦で楽しまれているそうです。息子さん曰く、「ママの料理はおふくろの味、ララ（息子さんの奥様の愛称）もいつも喜んで食べているよ」と。

あるとき分厚いサケが手に入ったそうです。そこでたつぷりのマヨネーズ、洋からし、酒を加えて玉ねぎ、シイタケ、ピーマンなどでサケを覆いアルミホイルに包んで、「オーブンで焼いて食べてね」と息子さんに手渡します。後日息子さんにこの料理の感想を聞くと「おいしかったよ、ララは『ママはこんなしゃれた料理も作るんだ』と言っていた」と答えられたそうです。

そして結びは、「ララちゃん、私だって時にはこんな料理を作る時もあるんだよ」と心の中つぶやいた、でした。

この文章を読み終わって確かに親子の情が伝わるいい文章だとは思いましたが、妻が大騒ぎする理由がピンときませんでした。その旨を伝えると妻が「あんた投稿欄最後まで読んだ？」と言ってくるではありませんか。

え、と思って最後の投稿者名のところを目を向けると、福岡市 ○○○○子 無職

103歳とあるではないですか。えー！ なんてこと！ 私も叫んでしまいました。

100歳をこえて自分で作ったお料理を息子さんに持たせること、こんな情にあふれた文章を投稿されることすべてがまさにあっぱれでした。

令和7年度 事業報告(概要)

社会福祉法人 北野健寿会

令和8年6月4日開催の理事会及び同年6月19日開催の評議員会において「令和7年度事業活動報告」を行いましたので、概要をお知らせいたします。

特別養護老人ホーム「西陣憩いの郷」は、平成17年の開設以来、「人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供する」という理念の下で、施設運営に取り組み続け、令和7年5月に開設20周年の節目を迎えることができました。入居者様ご家族様はじめ関係の皆様に変更感謝申し上げます。

令和7年度事業の概要及び実施状況は、以下のとおりです。

第1 主な施設運営の取組

生産性向上の取組

当施設では、令和7年4月に生産性向上委員会を設置し、テクノロジーの導入等による生産性向上の取組を進めるとともに、同年6月から新設の「生産性向上推進体制加算Ⅱ」の算定を開始しました。

令和7年度には、生産性向上委員会の議論等を踏まえて、見守り機器（眼リコネクト）を26台先行導入し、活用を開始したところですが、令和8年度中には全床配備し、転倒事故の防止や最適なタイミングでの介助等に取り組みむとともに、夜間巡視回数の減少等、職員の負担軽減にもつなげていきます。

介護人材の確保

人材確保の取組

離職者は、前年度の7名から10名に増加。離職率は、前年度の15.9%から16.7%へと若干高くなりました。

入居者の嚥下能力や心臓病等の疾患に合わせた食形態や療養食を管理栄養士と介護士が連携し、刻み食やミキサー食、心臓病食等、入居者毎に適した食事を提供しました。

看取り介護中の入居者に関しては、お元氣だった時にお好きだった物をご家族に持参いただき、最期まで召し上がっていただけるよう支援しました。

医療的支援の状況

(1) 健康管理

施設医の週32時間勤務体制を確保し、体調変化時には往診を実施、また、看護師が日々ユニットを巡回し介護職員と情報を共有して、日々の体調変化の把握に努めました。

入居者の発熱等、急変時は施設医と協力医療機関である相馬病院とで緊密に連携し必要な医療につなげました。

(2) 感染・褥瘡予防

感染症予防対策

換気、手洗い、消毒、職員のマスク着用、体温測定等の感染症予防の基本対策を徹底しました。また、新型コロナウイルス、インフルエンザワクチンについて、接種を希望した入居者・職員に対し、施設内においてワクチン接種を実施しました。

令和7年度は、新型コロナウイルス、インフルエンザ共に若干名の感染者がありました。施設内でクラスター化することはありませんでした。

褥瘡予防対策

適切なクッション選びや適正な使用方法、ポジショニングの指導により、褥瘡発生の予防に努めました。皮膚トラブルの早期発見、早期対応に努め、外科・皮膚科の往診と処置による治療、症状改善に努めました。

※令和7年度事業報告の全文については、西陣憩いの郷のホームページに掲載しております。

貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

資 産 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	134,730,346	137,929,294	△3,198,948
現金預金	46,974,873	63,697,805	△16,722,932
商品券	0	40,000	△40,000
事業未収金	84,589,245	72,810,533	11,778,712
未収金	76,028	65,000	11,028
未収補助金	2,134,000	0	2,134,000
立替金	92,100	717,720	△625,620
前払金	16,940	0	16,940
前払費用	847,160	598,236	248,924
固定資産	1,130,258,278	1,157,773,836	△27,515,558
基本財産	1,007,797,268	1,035,241,572	△27,444,304
土地	549,000,000	549,000,000	0
建物	458,797,268	486,241,572	△27,444,304
その他の固定資産	122,461,010	122,532,264	△71,254
構築物	1,834,366	3,455,953	△1,621,587
車輛運搬具	2	3	△1
器具及び備品	29,950,944	18,803,863	11,147,081
有形リース資産	11,764,196	15,497,351	△3,733,155
権利	119,000	119,000	0
出資金	10,100	10,100	0
無形リース資産	784,080	1,568,160	△784,080
長期前払費用	967,622	910,074	57,548
施設設備整備積立資産	77,000,000	82,000,000	△5,000,000
長期貸付金	30,700	167,760	△137,060
資産の部合計	1,264,988,624	1,295,703,130	△30,714,506

負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	91,030,692	94,395,755	△3,365,063
短期運営資金借入金	30,000,000	30,000,000	0
事業未払金	24,046,068	26,571,618	△2,525,550
1年以内返済予定設備資金借入金	20,760,000	20,760,000	0
1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,590,000	0	1,590,000
1年以内返済予定リース債務	4,276,800	4,276,800	0
職員預り金	357,824	1,787,337	△1,429,513
賞与引当金	10,000,000	11,000,000	△1,000,000
固定負債	125,047,010	151,673,810	△26,626,800
設備資金借入金	17,420,000	38,180,000	△20,760,000
長期運営資金借入金	98,410,000	100,000,000	△1,590,000
リース債務	9,217,010	13,493,810	△4,276,800
負債の部合計	216,077,702	246,069,565	△29,991,863
純 資 産 の 部			
基本金	242,055,000	242,055,000	0
第一号基本金	242,055,000	242,055,000	0
国庫補助金等特別積立金	157,929,965	157,261,417	668,548
その他の積立金	77,000,000	82,000,000	△5,000,000
施設設備整備積立金	77,000,000	82,000,000	△5,000,000
次期繰越活動増減差額	571,925,957	568,317,148	3,608,809
(うち当期活動増減差額)	△1,391,191	△57,777,704	56,386,513
純資産の部合計	1,048,910,922	1,049,633,565	△722,643
負債及び純資産の部合計	1,264,988,624	1,295,703,130	△30,714,506

事業活動計算書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

勘定科目			
当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
収益			
介護保険事業収益	561,476,012	476,135,242	85,340,770
経常経費寄附金収益	200,000	45,000	155,000
サービス活動収益計(1)	561,676,012	476,180,242	85,495,770
費用			
人件費	376,094,795	367,188,168	8,906,627
事業費	82,993,975	69,074,191	13,919,784
事務費	69,657,432	64,996,976	4,660,456
利用者負担軽減額	518,647	337,125	181,522
減価償却費	43,830,144	41,506,114	2,324,030
国庫補助金等特別積立金取崩額	△9,227,451	△8,744,626	△482,825
サービス活動費用計(2)	563,867,542	534,357,948	29,509,594
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△2,191,530	△58,177,706	55,986,176
収益			
受取利息配当金収益	356,053	171,484	184,569
その他のサービス活動外収益	1,771,655	2,602,124	△830,469
サービス活動外収益計(4)	2,127,708	2,773,608	△645,900
費用			
支払利息	497,614	1,114,194	△616,580
その他のサービス活動外費用	829,752	1,259,412	△429,660
サービス活動外費用計(5)	1,327,366	2,373,606	△1,046,240
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	800,342	400,002	400,340
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△1,391,188	△57,777,704	56,386,516
収益			
施設整備等補助金収益	9,896,000	0	9,896,000
特別収益計(8)	9,896,000	0	9,896,000
固定資産売却損・処分損	4	0	4
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△1	0	△1
国庫補助金等特別積立金積立額	9,896,000	0	9,896,000
特別費用計(9)	9,896,003	0	9,896,003
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△3	0	△3
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△1,391,191	△57,777,704	56,386,513
前期繰越活動増減差額(12)	568,317,148	621,094,852	△52,777,704
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	566,925,957	563,317,148	3,608,809
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	5,000,000	5,000,000	0
その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	571,925,957	568,317,148	3,608,809



- ・最高齢 108歳
- ・最年少 77歳
- (2) 要介護度別状況
- ・平均要介護度 3.8
- (3) 認知症の状況
- ・入居者全員に何らかの認知症の傾向がみられる。
- ・日常生活自立度Ⅲ以上の重度の方が44名（入居者の4割以上）
- 〈表1 入退居男女別〉
- (4) 退居理由
- 〈表2 退去理由一覽〉
- (5) 入居期間別
- ・入居期間3年未満…67%
- ・最長入居期間…11年11箇月

介護の状況

入居者の人権を守り、安全で快適に、その人らしく暮らしていただくため、個々の好みと生活リズムを大切に「24時間シート」を活用したユニットケアを推進しました。また、感染防止の観点から、引き続き面会外出制限を継続していますが、ご家族やご友人と一緒に時間を過ごしていただくことで、入居者の方により安心して寛いでいただける環境づくりに取り組んでいます。

(1) エビデンス(根拠・アセスメント)分析/評価に基づいた個別ケアプランによる支援の実施

入居者の「言葉にできない思い」を汲み取れるように心がけ、ご本人とご家族の意向に沿って、安心して暮らしていただくためのケアプランの作成に努め、それに沿って多職種間との連携を図り、チームアプローチを充実させるよう取り組みました。

また、ご家族に施設の支援方針をわかりやすく説明するため、入居者個々のケアプラン作成に大きくかわる「サービス担当者会議」に可能な限りご本人やご家族も参加していた

〈表1 入退居男女別〉				(人)
	退去		入居	
	男性	女性	男性	女性
男女別	5	22	7	30
合計	27		37	

〈表2 退去理由一覽〉				
人数	死亡(看取り介護)	死亡(入院中)	長期入院	その他(在宅復帰等)
14	3	8	2	27

〈表3 各班の取組状況〉	
美化・環境班	・施設内の整理・整頓・清掃への意識強化 ・職員の体調面を考えた取組(ワールネットの配布等)
介護力向上班	・必要な介護技術・知識の向上 ・内部研修を通して、介護の質向上の取組を全フロアに伝達 ・毎月1回の季節行事を実施 ・他部署と協力し、毎月書道サークルを実施
レクリエーション班	・「服薬に関する事故」「転倒事故」の件数を減らす取組を実施 ・上京消防署を講師として招き、AEDの取扱いについての研修を実施
事故検討班	・排泄用品の使い方や特性の知識の習得 ・全職員に正しい排泄用品の使用方法や、知識についての伝達研修
排泄班	

給食・栄養の状況

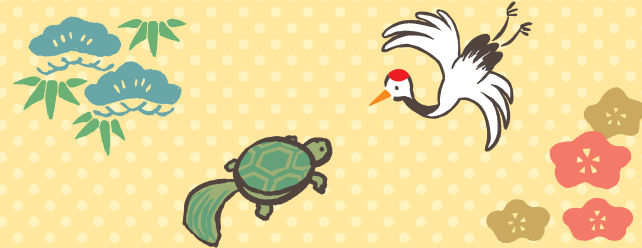
旬の食材を使用し、食事を通して季節を感じていただくため、祇園祭や春分の日などの行事食を提供しました。また、令和7年12月からは新たな給食業者によるお寿司等の月替わりイベント食

- (2) 事故の発生状況
- 令和7年度の事故発生件数は、前年度と比較し22件増加しました。居室内で過ごされている時や職員が他の入居者の介助に従事している最中に発生した「自己転倒」と「自己すり落ち」が事故の約45割を占めています。「誤薬投与」と「服薬漏れ」の合計は、前年度の63件から50件と減少しましたが、依然として一部のケースで誤薬や、落薬事故が発生しています。薬剤関係の事故は、入居者の健康を損なうリスクが非常に高いことから、看護師と介護士が連携し、服薬マニュアルの周知の徹底、各階での服薬ルールの取り決めなど、確認体制の強化を徹底してまいります。
- (3) 看取りケアの推進
- 令和7年度中に施設内で看取った方 14名
- 令和7年度末現在の看取りケア対応者 6名
- (4) サービス向上委員会の取組
- 〈表3 各班の取組状況〉



ご長寿のお祝い

100歳以上のご入居者様4名とご家族様をお迎えし、ご長寿のお祝いを実施しました。皆様には、理事長より感謝状と記念品、職員よりメッセージカードを贈呈させていただきました。ご入居者様それぞれからも有難いお言葉を頂戴し、終始和やかな式となりました。



行事食のご紹介

栄養管理担当より

令和8年7月10日 ごちそうの日

メニュー:
ひるぜんおこわ／さわらの焼き南蛮
冬瓜のゆず味噌掛け／ばち汁
ピーチミルクデザート



令和8年7月7日 七夕

メニュー:
わかめご飯
七夕そうめん
厚揚げの煮物
スイカ
間食:共通
七夕ゼリー



令和8年6月30日 水無月

メニュー:間食
間食:共通
水無月風ミルク寒天



令和8年6月10日 ごちそうの日

メニュー:
梅入り黒豆ご飯／お好み焼き
なすのポン酢和え／肉吸い
豆乳プリン みたらしソース



令和8年9月10日 ごちそうの日

メニュー:
焼き鳥丼／ミモザ仕立て
じゃが芋とひじきの煮物
ほうとう風汁／赤ぶどうゼリー



令和8年8月16日 大文字

メニュー:昼食
枝豆ご飯／キスと野菜の天ぷら
冬瓜のそぼろあん／スイカ／赤だし



令和8年8月10日 ごちそうの日

メニュー:昼食
すもじ(焼きサバのちらし寿司)
うなぎと豆腐の重ね煮／清まし汁
冷やし芋ぜんざい



令和8年7月17日 祇園祭

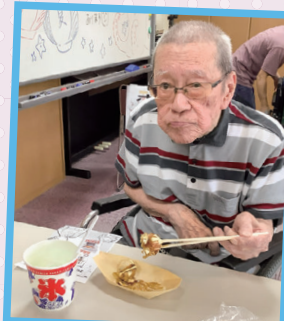
メニュー:
ちらし寿司／鰻の天ぷら／冬瓜の煮物
菜の花の辛し和え／赤だし



喫茶レク



レク班による夏祭り



「入居者様・ご家族様アンケート」（令和7年度）の集計結果について

令和7年度分として実施した「入居者様・ご家族様アンケート」結果について、以下のとおりご報告します。

1 アンケート調査について 実施状況は次のとおり

(1) 回答時期 令和8年4月15日～同年5月15日

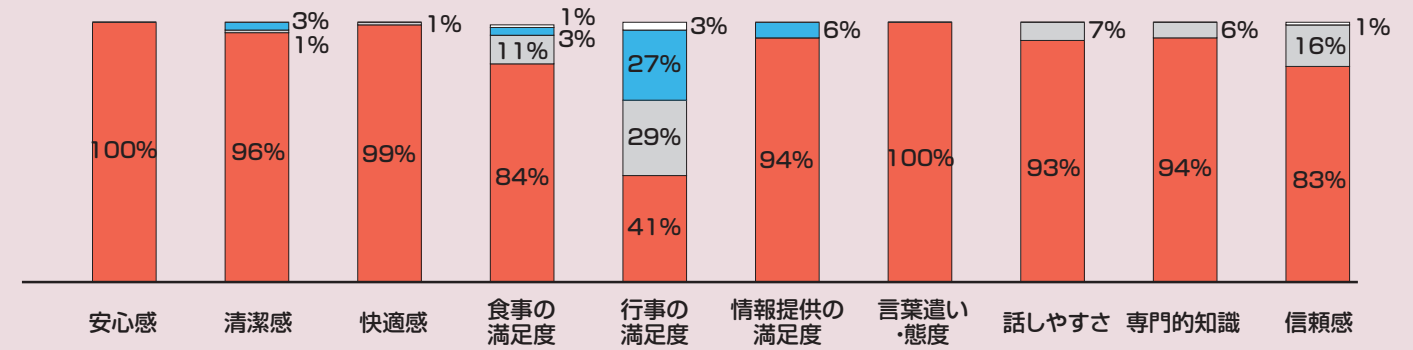
(2) 調査状況	配布数			回答数	回答率
	長期	95件	70件		73.7%

なお、ショートステイの結果については回答数が僅かであったため、「3 (2) 主なご意見」欄に集約した。

(参考例)

1	たいへん感じる	好意的回答
2	おおむね感じる	
3	どちらともいえないわからない	どちらともいえない
4	あまり感じない	否定的回答
5	まったく感じない	
6	未選択	未選択

2 アンケート結果の概要について



3 要点及び対応

(1) 全体
例年同様、多くの設問において、概ね「好意的回答」を多数お寄せいただきましたが、行事や食事の満足度の点で、課題を残す結果となりました。

回答いただいた皆様に感謝しつつ、これからも限られた経営資源の中で、入居者様・ご家族様の満足度の維持・向上に向けて取り組みを進めていきます。

(2) 主なご意見

○好意的ご意見

項目	ご意見
安心感	いつも機嫌よく迎えてくれるので安心してしています。
清潔感	トイレのお手伝いや清掃など本当に有難うございます。
快適感	若干の寒暖差の時でもエアコンで調整して頂いており感謝しております。
食事の満足度	インスタグラムを見ていると、いろんな行事に取り組んでいただいている様子が伝わってきます。
行事の満足度	お花見につれていただいた写真を見せていただきました。ありがとうございました。 先日のように植物園や外食等に連れて行って頂けると本当にありがたいです。
情報提供の満足度	定期的に状況を連絡していただけている。薬に関しては医師から直接連絡をいただけている。 インスタグラムで行事もわかりますし、何かあればすぐにお電話を頂けるので安心してしています。
言葉遣い	いつもあいさつをして下さいます。心遣いが感じられる言葉と態度だと思っています。 どなた様にお会いしても本当にいつも親切丁寧で感謝しております。
専門的知識	ご迷惑をおかけしているときがあると思うが、本人に寄り添った介護をしていただけていると思う。

○否定的ご意見

項目	ご意見	対応
清潔感	テレビ周りのホコリが気になる時があります。	清掃業務従事の体制の見直しや職員教育を徹底し、清潔な住環境の提供に努めます。
快適感	部屋に置いている湿度計がだいたい35パーセントくらいです。もう少し湿度があってもいいのではという気がいたします。	気密性の高い構造であるため、湿度管理は難しい面もあるのですが、乾燥する季節には、濡れたタオルを居室に掛けるといった工夫に取り組みます。
食事の満足度	酢飯でも良いのでお寿司を食べたいと言っています。 味付けをもう少しお考え下さい。(特に魚類)	令和7年12月から新たな給食業者になり、寿司の提供が可能になりました。メニューや味付けの工夫については、給食委員会での検討課題といたします。
行事の満足度	自分の部屋で過ごすことが多いので、連れ出していただき、刺激を与えて頂けたらありがたいです。 家族も参加したい。	職員体制が許す限り、7階ルーフガーデンや近隣の寺社仏閣等への外出を検討します。 コロナ禍前のようにご家族様の参加も今後検討いたします。
情報提供の満足度	食事、排便、入浴、日々のくらしぶりなど些細なことでもよいので聞かせていただけると家族としては非常にありがたいです。	ご家族様と信頼関係を築き、知りたい情報が提供できるような体制づくりに努めます。
話し易さ	お話をうかがいやすい方と、コミュニケーションがとりにくい方がおられます。	接遇等の研修機会を通じて職員のレベルアップにつながる教育をしていきます。

移動スーパー「とくし丸」訪問販売サービスについて

当施設では入居者様に「ご自身で商品を選び買い物する時間」や「お好みの商品を買って食べる楽しみ」を持っていただく機会として、軽トラックで食料品や日用品を施設まで運び、その商品を入居者様が購入できる移動スーパー「とくし丸」に訪問販売をしてもらうことといたしました。



- ①開催日時
毎週金曜日。午前11時半～11時45分ごろまで
- ②販売業者
スーパー・エムジーが運営する移動スーパー「とくし丸」
- ③販売価格
エムジー店舗での小売販売価格+販売手数料1商品につき+20円
- ④取扱商品
食料品(お菓子、菓子パン、ふりかけ、総菜、果物、野菜等)
日用品(歯磨き粉、乾電池等)
- ⑤ご利用方法
1)ご自身の意思で商品が選べる方
職員が付き添ってご自身で選ばれた商品を購入していただけます。
購入代金は施設利用料と一緒に引き落しさせていただきます。(購入商品のレシートのコピーを請求書に同送します。
購入限度額は予め、職員からご家族様に確認させていただきます。
2)ご自身での商品選択が難しい方
ご家族様同伴でお買い物ください。(事前予約不要)
購入代金はその場でお支払いください。(現金のみ。電子マネー・カード払い不可)

⑥その他

刺身、握り寿司等の生もの、餅類は当施設の「施設への食品の持ち込みに関する運営基準」により、購入はお控えください。
ご家族様から職員への依頼による、代理購入は「買い物を楽しむ」という本サービスの趣旨からお受けできませんので、予めご了承ください。
ご自身で選ばれる方のご利用頻度は職員の勤務体制により、月当たりの利用回数を制限させていただくことがあります。

ご利用にあたり、ご不明な点等ございましたら、各階の介護職員までお問い合わせください。

職員研修



事業計画に関する研修



排泄に関する研修



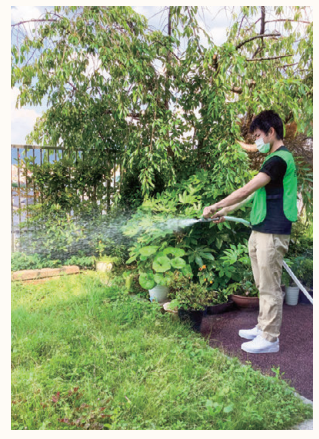
コンプライアンス研修



看取り研修

介護サービスの質の向上に向け、外部講師を招いての新入職員研修や施設職員が中心となった感染症やお看取りの研修等、幅広い研修を実施しております。

防火訓練



京都市上京消防署の方にお越しいただき、避難訓練及び消火訓練を実施いたしました。
火災が起きた際、ユニット内での対応方法や、施設内で備えている消火器・消火栓の使い方を学べる実践的な研修になりました。また、今回は地域住民の方々にもお越しいただき意見交換も行うことができました。非常に有意義な訓練となりました。

眠りコネクトシステム 100床分導入

当施設では、ベッドの下にセンサー(眠りスキャン)を設置することにより、いま入居者様が寝ておられるのか、離床されておられるのか等を介護職員が手元のデバイス上で確認することができるシステム(眠りコネクト)を100床分導入しました。

特に夜間帯は、日中と比べ職員の数が少ないた

め、転倒事故防止等にたいへん有効なシステムとなっています。

当施設ではこのシステムの導入により、入居者様の安全・安心の確保はもとより、最適なタイミングでの介助等に努めるとともに、巡視回数の減少等、職員の負担軽減にもつなげていく考えです。



職員の声

眠りコネクトシステムが導入され、良かったと感じる点は職員の精神的・身体的負担の軽減と入居者様のタイミングに合わせた対応が可能になった点です。

精神的・身体的負担の軽減については、これまでは夜間帯等入居者様が臥床されているか等の確認は巡視によるものだけでしたが、このシステムが導入されてから、端末での表示確認で臥床、起き上がり、離床などを知ることができるため、夜間帯に1人での業務であっても落ち着いて対応できることにつながっています。また、それらの表示に合わせ、効率的に訪室できるようになったことで、以前よりも身体的に負担が軽減されているように感じます。

また、入居者様のタイミングに合わせた対応については、睡眠と覚醒の表示確認で入居者様のタイミングに合わせた訪室を行い、起床介助やトイレ誘導等がスムーズに行えるようになり、入居者様の睡眠の質を高めることにもつながっているように感じます。



表示画面のサンプル

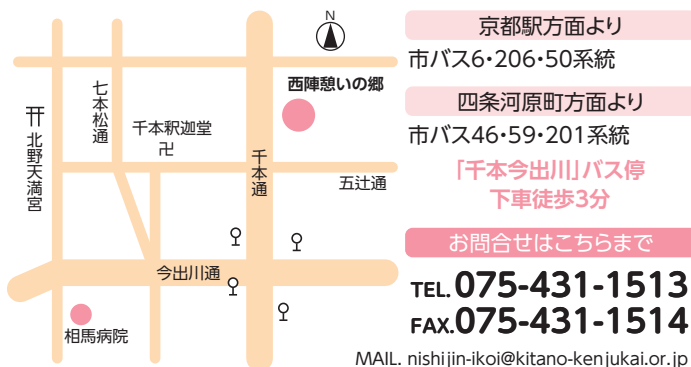
表紙写真の解説

ホイアン旧市街 [ベトナム]

トゥボン川が南シナ海に流れ出る三角洲に形成された沿岸都市です。15世紀から19世紀にかけてアジアとヨーロッパの交易の中心地として栄え、日本人町も造られました。今では、旧市街の日本橋がわずかにその面影を残しています。

1999年、古い町並みはユネスコの世界遺産に登録されました。

施設のご案内



西陣憩いの郷だより40号をお読みいただきありがとうございます。
本誌4頁で紹介した「夏祭り」のレクリエーションでは、射的や金魚すくい等だけでなく、かき氷やたこ焼きも提供させていただきました。徐々にではありますが、コロナ禍前の生活に戻ってきているのではないかと感じています。
今後も引き続き、施設の取り組みや入居者様のご様子をお伝えしていきたいと考えておりますので、楽しみにしていただければ幸いです。

(広報誌担当)

編集後記

入居者様・介護スタッフ募集中

詳細はお問い合わせください。